



山形県感染症発生動向調査

平成29年第48週(11月27日～12月3日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2017年12月6日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第47週	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	第47週	第48週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	7280 1.47	33 0.69	81 1.69	▲	28 1.40	62 3.10	▲		2 0.40	△		2 0.20	△	5 0.38	15 1.15	▲	11558
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2240 0.71	22 0.73	21 0.70	▼	10 0.77	9 0.69	▼	3 1.00	1 0.33	▽	9 1.50	8 1.33	▽		3 0.38	△	1746
咽頭結膜熱	2185 0.69	36 1.20	49 1.63	△	17 ◎1.31	30 ◎2.31	△		3 1.00	△	16 ◎2.67	12 ◎2.00	▼	3 0.38	4 0.50	▲	1191
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7725 2.44	142 4.73	158 5.27	△	63 4.85	66 5.08	△	8 2.67	9 3.00	▲	56 ◎9.33	63 ◎10.50	▲	15 1.88	20 2.50	△	6582
感染性胃腸炎	17344 5.48	193 6.43	220 7.33	▲	110 8.46	125 9.62	▲	1 0.33	8 2.67	△	59 9.83	69 11.50	▲	23 2.88	18 2.25	▽	6717
水痘	1478 0.47	22 0.73	46 1.53	△	13 1.00	31 2.38	△				7 1.17	5 0.83	▼	2 0.25	10 1.25	△	688
手足口病	3885 1.23	75 ◎2.50	57 1.90	▽	18 1.38	7 0.54	▽	28 ◎9.33	23 ◎7.67	▽	17 ◎2.83	20 ◎3.33	△	12 1.50	7 0.88	▽	3720
伝染性紅斑	250 0.08	7 0.23	14 0.47	▲	4 0.31	3 0.23	▽		1 0.33	△	3 0.50	10 1.67	△				681
突発性発しん	1317 0.42	15 0.50	19 0.63	△	4 0.31	2 0.15	▼		1 0.33	△	6 1.00	7 1.17	△	5 0.63	9 1.13	▲	891
百日咳	33 0.01																25
ヘルパンギーナ	568 0.18	2 0.07	3 0.10	△	2 0.15	3 0.23	△										1271
流行性耳下腺炎	853 0.27	7 0.23	4 0.13	▼	1 0.08	1 0.08					6 1.00	3 0.50	▼				598
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	3 0.00																
流行性角結膜炎	493 0.71	10 1.25	18 2.25	▲	9 2.25	18 4.50	▲				1 1.00		▼				201
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10 0.02	1 0.10	1 0.10		1 0.25	1 0.25											84
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	164 0.34	11 1.10	5 0.50	▼	6 1.50	3 0.75	▼		1 1.00	△				5 1.67	1 0.33	▽	237
細菌性髄膜炎	13 0.03																5
無菌性髄膜炎	14 0.03																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
侵襲性インフルエンザ菌感染症	患者	1				ヒブワクチン接種歴:1~4回ともに不明。
つつが虫病	患者		1			※第47週追加報告分。
急性脳炎	患者	1				※第47週追加報告分。

<通信欄>

※第48週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数が1.69人となり、流行開始の目安である1.00人を上回りました。
 ※トピックスで、インフルエンザ、咽頭結膜熱について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

＜定点把握感染症 報告患者数 年齢別＞

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	2	1	6	7	5	6	9	12	3	4	8	4		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	3	3	5			2									81
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	5	7	2	3					1	1			1	21
咽頭結膜熱		1	11	8	5	10	7	2	2		2			1	49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	11	10	19	16	17	23	14	12	23	3	5	158
感染性胃腸炎	2	16	43	35	27	24	8	14	13	8	5	20	4	1	220
水痘		1	4	5	4	7	7	4	3	5	2	3	1		46
手足口病	1	3	15	10	8	7	6	3	2			1		1	57
伝染性紅斑				2	5	1	2	1		2	1				14
突発性発しん		7	11		1										19
百日咳															
ヘルパンギーナ				1	1						1				3
流行性耳下腺炎						1		2						1	4

＜平成29年10月 月報＞

2017年11月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	26	6	15	4	2	2	5	2	4	190
	定点当り	1.40	2.60	1.50	3.75	4.00	2.00	1.00	2.50	0.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	7	2	3		1	2	3	3		63
	定点当り	0.70	0.70	0.50	0.75		1.00	1.00	1.50	1.00		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1					1	2	19
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	1						1				31
	定点当り	0.10						0.50				
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	7				1	1		5	6	66
	定点当り	0.60	0.70				1.00	0.50		1.67	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	27	16	16	2	2	3	3	6	6	219
	定点当り	2.70	2.70	4.00	4.00	2.00	2.00	1.50	1.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

＜トピックス＞

【インフルエンザ情報】

第48週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数が1.69人となり、流行開始の目安である1.00人を上回りました。

・インフルエンザ

警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人

・第48週 定点当たり報告数 (山形県:1.7人)

村山地区 3.1人、最上地区 0.4人、置賜地区 0.2人、庄内地区 1.2人

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第48週)

村山地区:A型 50件、B型 11件、不明 1件

最上地区:A型 2件

置賜地区:A型 1件、B型 1件

庄内地区:A型 15件

2 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第48週)

村山地区:小学校 1件 幼稚園 1件

最上地区:小学校 1件

庄内地区:高校 1件

インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。

かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。

【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

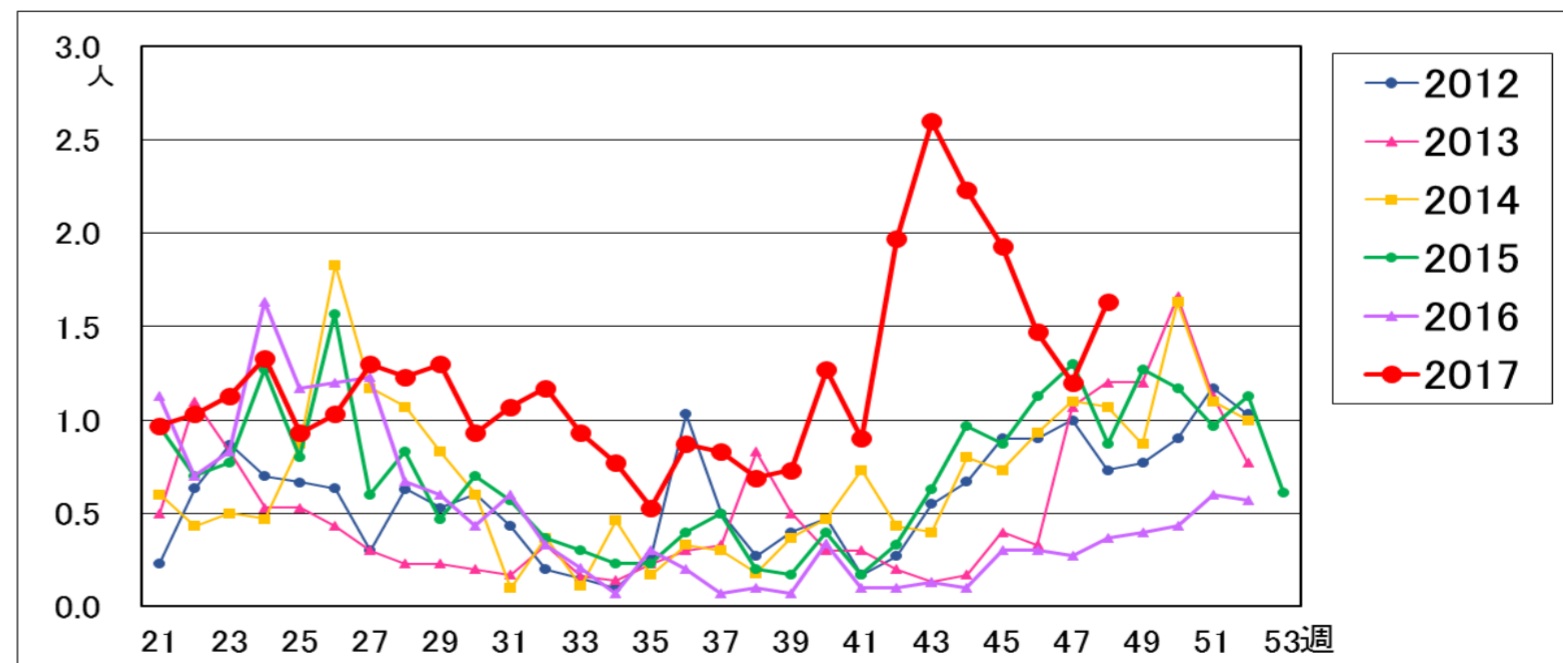
・咽頭結膜熱

警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人

・第48週 定点当たり報告数 (山形県:1.6人)

村山地区 2.3人、最上地区 1.0人、置賜地区 2.0人、庄内地区 0.5人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

【予防法】感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。